

# 生き様や思想実感

## 展示物に興味深く

企画に82人



親鸞展



福井市立郷土歴史博物館で開催中の親鸞展などを訪ねる「親鸞展と史跡めぐり」（日刊県民福井、中日新聞主催）が十六日、募集に応じた県民八十二人が参加して行われた。

親鸞展で展示物を眺める参加者たち―福井市立郷土歴史博物館で

メインとなる同博物館に到着した一行は、

「比叡山での親鸞」「法然との出会い」「越後への流罪」など、親鸞の生涯を年代を追って紹介した展示物を見て回った。さまざまな形で描かれた親鸞の御影などを興味深そうに眺めていた。敦賀市の内池宏行さん

### 子どものころから念仏

### 私の親鸞

福井市栄町

主婦

後藤千衣子さん



ある。体調を崩していなければ一緒に来たかった。子ども時代から南無阿弥陀仏と唱えていたせいか、毎日、何かに感謝する生活を送っている。宗教は大自然と同じで、おのずと手を合わせたくなるものだと思う。（会場で）

ん(七五)は「中学生の時から親鸞に興味があり小説を読んでいた。そのころからずっと心に残っていた」と参加のきっかけを話した。内池さんは親鸞展を巡り終え、「深いね」とひと一言。「親鸞の生き様や思想など、今まで学んできたことを実際に見て反すうできる内容だった。新潟県や関東の史跡にも行きたいなと思った」と感想を語った。同博物館に先立ち、参加者は浄土真宗中興の祖、蓮如ゆかりの吉崎御坊（あわら市）などにも足を運んだ。（藤共生）

親鸞は福井の人には身近な存在。母親が親鸞の勉強をずっとして、富山県まで展示会を見に行ったことが

親鸞展は29日まで福井市立郷土歴史博物館で